教科 (種目)	国語	書写	社会	地図	算数	理科
発行者	東書	東書	東書	帝国	啓林館	大日本
理由	る箇所が豊富である。また、インターネットやSDGs等、今日的ないとックを教材に取り入れている。さらに、構成上の工夫として、第2学年以上の冒頭で「国語の学習の進め方」というページを設し、「思い出そう」「見かそう」という学習過程を示している。上記の特徴が、世界で通用する語学力を育み、それを支える言語能力を向上させることや、自	の組立て方、文字の形を取り上げている項目数が豊富である。また、構成上の工夫として、「文字といつしょに」では、さまざまな観点から「文字文化」に触れたり、第2学年以上では「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「ふり返ろう」という学び方を示したりしている。 上記の特徴が、日本の伝統・文化を理解して尊重するとともに、多様な価値観を受容し、を育てることを教育方針とする本校の使用に最適であると判断した	社会の発展を象徴する文化遺産を取り上げている事例数が豊富である。また、構成上の工夫とて、「学習の進め方」のコーナーがあり、問題解決的な学習をするためのポイントや、社会科にいて活用したい「見方・考え方」が示されている。上記の特徴が、日本の伝統・文化を理解して尊重するとともに、多様な価値観を受容し、を前に国際社会に参画する力を行ってることを教育方針とする本校の使用に最適であると判断しため。	の工夫として、「江戸時代の結びつき」や「日本の歴史」等を掲載し、歴史的事象を地理的な空間の広がりとともに学べるようにしていたり、世界の地図ページでは主要な国名や首都名に英語を記載したり、「外国から日本へ伝わったさまざまな言葉」を示したりしている。 上記の特徴が、日本の伝統・文化を理解して尊重するとともに、多様な価値観を受容し、主体的に国際社会に参画する力をでることを教育方針とする本校で	る。また、SDGsと関連付けた問題を扱っている。さらに、構成上の工夫として、第2学年以上の上巻巻頭「算数の学習の進め方」において、「どんな問題かな」「自分で考えよう」「みんなで話しあおう」「たしかめようふりかえろう」という学習の進め方を示すとともに、「たしかめようふりかえろう」から「どんな問題かな」までを矢印でつなぐことで学習のサイクルを示している。 上記の特徴が、自ら課題を認	う」「ふり返ろう」「理科のたまてばこ」「サイエンスワールド」では、学んだことを深められる資料や生活との関連、学んだことと関連する職業、既習事項を基に別の課題に取り組める資料などを掲載している。さらに、他教科との関連を示す記載がある。 上記の特徴が、自ら課題を認識し、論理的に考え、判断し、行動できる力を育てることを教育方針とする本校での使用に最適で
教科 (種目)	生活	音楽	図画工作	保健	英語	道徳
発行者	東書	教芸	開隆堂	東書	東書	光文
採択理由	富である。また、構成上の工夫として、「学びをふかめる」というコーナーなどで対話や体験活動を通して学習を深める児童の写真や化したり、児童の写真やイラストの多くに吹き出しを付け、児童の気持ちや発言を表現したりしている。 上記の特徴が、異学年との学習活動や地域連携、国際協働して新しい価値を創造する力を校であることを教育方針とする本での使用に最適であると判断しため。	器と、児童にとって身近な楽器の 関連性を分かりやすく示してい る。また、構成上の工夫として、 主体的・対話的で深い学びを実 現するために、参考となる学び の手順や工夫の視点を、イラスト 等も使用しながら具体的かつ視 覚的に示している。 上記の特徴が、日本の伝統・ 文化を理解し尊重するとともに、 多様な価値観を受容し、主体的 に国際社会に参画するカを育の 使用に最適であると判断したた	富である。また、構成上の工夫として、題材ごとに重点をおいて育成する資質・能力に関連するキャラクターを掲載し、学習のポイントとなる視点や問い掛け等を付している。さらに、題材ごとにあわせて学ぼう」等のコラムを掲載している。 上記の特徴が、自ら課題を認識し、論理的に考え、判断し、行動できる力を育てることを教育	ある。また、構成上の工夫として、学習の流れを「ステップ1(気で・見つける)」「ステップ3(調べる・解決する)」「ステップ4(まとめる・生かす)」で構成していたり、学習内容を広げたり、深めたりするために、「資料」というページを設定したりしている。 上記の特徴が、自ら課題を認識し、論理的に考え、判断し、行動できる力を育てることを教適であります。	紹介している。さらに、構成上の 工夫として、別冊「My Picture Dictionary」に掲載されている語 彙を選択し、音声を聞くことがで きるようにしている。 上記の特徴が、世界で通用す る語学力を育み、それを支える 言語能力を向上させることや、自 ら課題を認識し、論理的に考え、	や「国際理解、国際親善」の内容項目の教材数が豊富である。また、構成上の工夫として、巻頭に「ゆたかな心」や「道徳はこんな時間です」を掲載し、道徳の時間のねらいや1時間の流れを示している。さらに、各教材の末尾に「考えよう」「まとめよう」「ひろげよう」を設け、発問例を示している。上記の特徴が、日本の伝統・文化を理解して観を受容し、主体的に国際社会に参画する力を育てることを教育方針とする本校での使用に最適であると判断した